

日 時 令和2年5月28日(木)

## 1 議題

書面開催のため、資料と説明に対するの応答に代わり、概要説明として補足を行います。

### (1) 令和元年度にぎわい交流館運営実績について

別紙「1. 令和元年度にぎわい交流館運営実績について」より

- (1) 会議室等利用状況は前年比減でしたが、前年度に過密となり利用者からの意見等を踏まえて改善を実施した結果となりました。利用ルールはにぎわい交流館から周知が図られて円滑に進んでおります。また利用団体も前年比増のため年度通して目的が図られたものと考えています。
- (2) コロナウィルスの影響が無ければほぼ前年と同様の実績となっていました。
- (3) 順調に登録団体は増加し、日進市での活動の支援が行われています。
- (4) わいわいフェスティバル事務局業務は影響したと考えられますが、開催以後について相談業務は適切に実施しています。

### (2) 令和2年度にぎわい交流館運営計画について

別紙「2. 令和2年度にぎわい交流館運営実績について」より

- (1) わいわいフェスタが中止となりましたが、市民活動と協働の拠点としての機能を充実し、様々な連携と取り持つ目標を掲げました。

### (3) 令和2年度年次事業評価書について

【非公開審議事項】

### (4) その他にぎわい交流館の運営について

# 1.令和元年度にぎわい交流館運営実績について

## (1) 会議室等運営実績について

本年度の会議室の利用人数は 24,777 人で、前年度に比べ 5,307 人、約 17%の減少でした。また利用件数は 2,006 件で、前年度に比べ 240 件、10%程減少しました。

2月末ごろから新型コロナウイルス感染症の影響で会議室利用のキャンセルが相次いだ一方で、福祉会館などが休館したことによる利用者の流入も一部見られました。

令和元年7月以降の利用について、「3か月先の予約は1団体につき3コマまで」の上限ルールを設けたことにより、利用の機会が多く多くの団体に行き渡るようになった一方で、利用実績が減少する要因になりました。

また、1件あたりの利用人数は 12.4 人で、前年度（13.4 人）より減少しました。会議室を1回以上利用した登録団体は 167 団体で、前年度より微増しました。

印刷機の利用件数は 556 件で、前年度 608 件に対して 8.6%の減少でした。

以上のように、今年度は利用が過密な状態が解消され、適度な空きが生まれました。今後はこの状態が維持されるとともに、より多くの団体が利用できるよう、支援に努めていきます。

## (1) 会議室等利用状況について（H31年4月～R2年3月）

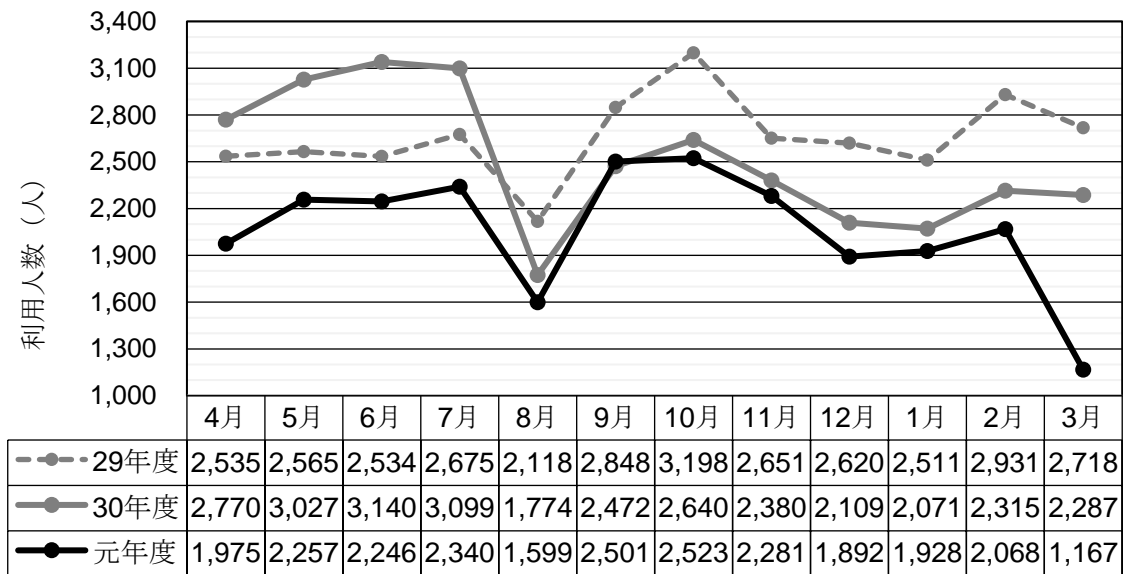
	R1 年度	H30 年度
会議室利用人数	24,777 人	30,084 人
利用件数	2,006 件	2,246 件
利用率 (1 件以上の利用があった割合)	午前 91.3 %	昼間 97.8%
	午後 95.5 %	
	夜間 78.2 %	夜間 79.6%
会議室利用団体数	167 団体	159 団体
1 件あたりの利用人数	12.4 人	13.4 人
印刷機の利用件数	556 件	608 件

		会議室 ABC	会議室 D	和室	合計
利用人数	R1 年度	13,955	6,298	4,524	24,777
	H30 年度	16,206	7,571	6,307	30,084
	前年比	86.1%	83.2%	71.7%	82.4%
利用件数	R1 年度	786	719	501	2,006
	H30 年度	865	797	584	2,246
	前年比	90.9%	90.2%	85.8%	89.3%

	会議室 ABC			会議室 D			和室		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
R1 年度	75%	87%	59%	72%	87%	52%	65%	74%	38%
H30 年度	90%		60%	94%		56%	91%		25%

※午前 8:30～12:00／午後 12:00～17:15／夜間 17:15～22:00、会議室利用率について H30 年度は集計方法が異なるが参考として掲載

会議室利用人数の推移



## (2) 市民サロン運営実績について

ワンデイシェフによる**ランチ提供食数**は 11,363 食で、前年度比 12.0 %の減少でした。新型コロナウイルス感染症対策のため 3 月の飲食提供を休止したことや、休日が多かったため、年間では大幅な減少となったことが原因と考えられます。1 日当たりの平均食数は 44.7 食で微増でした。ワンデイシェフとして活動する団体は、前年度と同じ 9 団体でした。内容を季節に合わせて見直したりする団体もありました。10 月から消費増税のため 3 団体が価格を 700 円と改定しましたが、上期と比べて大幅な増減はありませんでした。

利用促進の取り組みとして 8 月に「木祖村ランチフェア」、11 月に「あったかだんらん鍋フェア」（環境課の事業への協力）を開催しました。

**マーケット**は前年から 2 団体減り、本年度中に 8 団体が利用しました。3 月のワンデイシェフ休止に伴い、来館者の減少が見込まれるなどの理由で 3 団体がお休みしました。また、布マスクの販売のため 5 日間の臨時利用もありました。

**ランチコンサート**の開催回数は 96 回（月～金曜 68 回、土日 28 回）で、3 月はワンデイシェフの休止がありましたが、2 月までの開催回数は平均して微増しました。

出演者は 38 組で、前年度より微増でした。このうち年間 4 回以上出演した人は 8 組でした。ランチ提供日数に対する開催率を見ると、月～金曜日は約 3 割、土曜日は約 8 割でした。

**ギャラリー**の開催回数は 26 回で、前年度に比べて 4 回の減少でした。このうち登録団体による展示が 15 回、市民協働課による展示が 2 回でした。展示スペースが空いている時期には、出展者との話し合いにより期間を延長して展示してもらおうなど、施設の有効活用に努めています。

	ワンデイシェフ				ランチコンサート		ギャラリー	
	食数		1日平均		R1年度	30年度	R1年度	30年度
	R1年度	30年度	R1年度	30年度				
4月	1,187	1,115	45.7	42.9	10	10	2	3
5月	961	1,107	41.8	44.3	10	6	0	3
6月	1,098	1,267	42.2	46.9	10	9	3	3
7月	1,157	1,220	46.3	45.2	9	10	3	3
8月	969	860	46.1	43.0	6	8	3	3
9月	1,060	905	46.1	39.3	9	10	1	4
10月	1,122	1,117	46.8	41.4	10	9	1	4
11月	1,142	1,199	45.7	48.0	10	6	3	2
12月	811	892	47.7	44.6	7	9	2	2
1月	901	1,005	42.9	45.7	6	8	1	0
2月	955	1,063	41.5	44.3	9	7	4	3
3月	0	1,165	0.0	44.8	0	10	3	0
合計	11,363	12,915	44.7	44.2	96	102	26	30

### (3) 登録団体数について

日進市市民活動団体登録の数は令和元年度3月末時点で322団体であり、前年度末に比べて23件増加しました。平成29年度に行った登録更新により減少しましたが、平成31年4月からの会議室利用予約ルールの変更の周知も行き渡り、順調に団体登録が増えました。

新規登録団体の主たる活動分野は「学術・文化・芸術・スポーツ」(15団体)、次いで「子ども健全育成」(9団体)、「社会教育」「まちづくり」(各8団体)が多くありました。

	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成27年度				261
平成28年度	44	4	+40	301
平成29年度	35	65	-30	271
平成30年度	39	11	+28	299
令和元年度	25	2	+23	322

#### (4) 相談件数について

本年度に対応した相談件数は186件でした。前年同期（222件）と比べて16%減少しました。昨年度に比べ、わいわいフェスティバルの事務局としての初めての年で業務を調整するなかで、効率的に相談を行って対処していくなかで、しっかり時間をかけて案件に対処していくことで内容を掘り起こして他の相談につなげるといった所まで至らなかったためと考えます。

相談者の内訳は「登録団体」31%、次いで「市民」29%となり、昨年と逆転しました。相談内容の内訳は、「施設利用・団体登録したい」が最も多く20%、次いで「講座や団体を探している」が18%でした。

- ・障害者福祉事業所や地縁型団体から、ボランティアで体操や運動を教えてくれる人を探しているという相談がしばしばあります。
- ・市民活動団体（国際交流協会、ワンデイシェフなど）で仕事をしたいという相談が複数ありましたが、相談者が想定するほどの収入は得られないため他の可能性を提案するという状況です。
- ・団体登録したいという相談は会議室利用のためのものが多いですが、登録の要件に合わない場合もあり（単発で利用したいなども含む）、実際の団体登録に結び付いたのはおよそ半分でした。
- ・日進市の市民活動補助金への応募に関する相談は9件ありました。

相談者			相談内容		
	人数	割合		件数	割合
登録団体	58	31%	施設利用・団体登録したい	37	20%
市民	54	29%	講座や団体を探している	34	18%
未登録の団体	33	18%	団体について知りたい	32	17%
行政・学校等	31	17%	活動目的・事業内容について	15	8%
その他	10	5.0%	その他	68	37%

## (5)主な事業の実施報告

### 【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等	
1	木祖村ランチフェア・ 産直フェア	令和元年 8 月 11 日 (日) ～30 日 (金)	参加団体 9 団体 提供食数 482 食	
	ワンデイシェフの利用促進、友好自治体 木祖村との交流のため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供しました。木祖村観光協会による産直フェア (8 月 22 日)、加工食品の受託販売、ギャラリーでのポスター等展示も行いました。当初計画通り開催しました。			
2	にっしん市民まつり (にぎわい交流館ブース)	令和元年 11 月 17 日 (日)	出展団体 18 団体 来場者 のべ 1,600 人 売上金額 約 27 万円	
	にっしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会としました。当初計画通り開催しました。			
3	ボランティア体験講座			
	受け入れ団体交流会	令和元年 12 月 18 日 (水)		
	参加者向け事前研修	令和 2 年 1 月 13 日 (月・祝)、1 月 15 日 (水)		
	ボランティア体験	ASNi (アクセスサポート日進)		参加者 0 名
		ガイドヘルプひまわり 令和 2 年 2 月 10 日 (月)		参加者 2 名
		日進災害ボランティアコーディネーターの会、令和 2 年 2 月 15 日 (土)		参加者 2 名
		公益財団法人アジア保健研修所 令和 2 年 1 月 25 日 (土) 令和 2 年 2 月 22 日 (土)		参加者 3 名 参加者 1 名
		日進絆子ども食堂 令和 2 年 1 月 30 日 (木)		参加者 5 名
	ふり返し交流会	令和 2 年 3 月 7 日 (土)	※中止	
	市民活動団体にボランティアが初めての方向けの、ボランティア体験プログラム (1 日程度) を作ってもらい、ボランティアをやってみたい人に参加してもらいました。プログラムにはにぎわい交流館スタッフがコーディネーターとして付き添いました。なお振り返り交流会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。			
4	志摩市フェア	令和 2 年 2 月 21 日 (金) ～29 日 (土)	結果 物産販売 50 個	
	友好自治体 志摩市との交流を図るため、またにぎわい交流館の利用促進のため、志摩市観光協会による産直フェア (21 日のみ)、観光協会から委託を受けての物品販売、市民協働課によるギャラリー展示を行いました。			

	事業名	日程	参加者数等
5	にしんわいわいフェスティバル実行委員会事務局	≪令和元年度開催≫ 令和元年4月12日(金)～ 8月2日(金) ≪令和2年度開催≫ 令和元年9月13日(金)～ 令和2年3月27日(金)	≪令和元年度開催≫ 実行委員18名、出展団体119団体、当日運営ボランティア118名、来場者3700名、メディア掲載2件(中日新聞・リビング名古屋) ≪令和2年度開催≫ 実行委員12名
		≪令和元年度開催≫実行委員会を開催したほか、出展団体の申し込みの取りまとめ、実行委員会企画の補助、チラシ・パンフレットのデザイン等の事務を行いました。イベントでは市民活動団体・企業・大学・行政のブース出展、実行委員会企画「なぞラリー」等、公募企画を実施しました。≪令和2年度開催≫実行委員会を開催したほか、出展団体の申し込みの取りまとめ等の事務を行いました。	
6	NPO 読書会 (団体向け講座)	≪第1回≫令和元年8月29日(木) ≪第2回≫令和2年1月7日(火) ≪第3回≫令和2年3月13日(金) ※第3回のみ中止	第1回 7名 第2回 1名
		NPOに関する図書を題材とした読書会を行うことにより、市民活動団体に向けて専門的で信頼性の高い学びの場を提供するために開催しました。課題図書を分担して読み、内容を要約して説明し合い、参加者同士で意見交換を行いました。第3回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。	
7	にぎわい NEWS 発行 (Vol. 18・19)	令和元年6月、11月	発行部数 各号3,500部 掲載団体 6団体
	Vol. 18...めぐみの会・NPO法人ノーマカフェ・一般社団法人ハートフルサポートネット 織田栄嗣さん、Vol. 19...NPO法人赤池サークル会 市民活動に関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行しました。特集としてインタビュー記事を中心に構成、当初計画通り2号発行しました。		
8	広報にしん記事制作	令和元年8月号 令和2年3月号	発行部数 38,000部 掲載団体 4団体
	8月号...にしん図書館サポーターズ、アジア保健研修所 3月号...日進絆子ども食堂、自然派子育てサークルとこてく 活動分野の異なる4団体を取り上げ、インタビューをもとにSDGsと団体の活動について参加しやすいイベントを紹介するなどして、気軽に市民活動に参加できる記事を制作しました。当初計画通り実施しました。		

	事業名	日程	参加者数等
9	チラシ配送（市民自治活動 奨励事業認定制度）	平成 31 年 4 月～	33 件 (奨励事業 25、市補助 金事業等 8)
	<p>平成 30 年度に開始した仕組みを引き続き運用しました。団体からの申請に基づいて奨励事業を認定し、イベント等のチラシを市内公共施設（図書館、市民会館、スポーツセンター、福祉会館 6 館）に配送し、配架してもらいました。月 2 回実施、1 回につき 3 件以内の認定としました。本年度は 23 回の実施のうち 19 回で申請・配送がありました。また、奨励事業の認定を受けてチラシ配送を利用した団体は 18 団体でした。申請件数が多かったため不認定となった申請は 2 件ありました。</p> <p>継続的に実施できるよう、さらなる周知と適正な運用に努めていきます。</p>		
10	専門家への相談コーディネート	平成 31 年 4 月～	
	<p>専門的な相談に対応できる態勢を整え、団体の支援を行います。同時に、専門家による的確なアドバイスを同席して見聞きすることで、施設職員の技量向上も期待できる事業です。</p> <p>今年度は NPO の設立・運営に関する専門家の協力を得て、チラシを作成しました。団体から問い合わせがあった際には、施設職員が聞き取りを行ったうえで、専門家への相談の場を設定する予定でした。</p> <p>チラシに掲載した専門家は 1 組（ボランティアネイバーズ）で、相談者を募集しましたが、残念ながら相談コーディネートにつながった事例はありませんでした。</p> <p>今後は、定期相談日の設定なども含め、相談しやすい環境づくりに努めるとともに、利用団体の皆さんとの普段の会話などからもニーズを掘り起こし、それぞれの団体が抱える課題の見える化、さらには課題解決につなげていきます。</p>		



【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
11	事業説明会・団体交流会	令和元年 7月 21日（日）	参加者 13名
	<p>登録団体に対して、にぎわい交流館の前年度の事業成果について報告するとともに、本年度の事業計画について説明することにより、情報共有・意見交換を行い、事業への参加・協力を呼びかけるために開催しました。また、団体同士の交流を図り、連携につなげることも意識して行いました。</p> <p>配付資料（平成 30 年度事業報告、平成 30 年度登録団体アンケート結果、令和元年度事業計画）に沿って、スタッフが説明を行いました。疑問点やにぎわい交流館でやってほしいことを参加者に考えてもらい、スタッフもグループに入って話し合いました。</p> <p>にぎわい交流館の事業の全体像を知ってもらう機会、参加者が会館を利用するなかで感じていることを話し合う機会として有意義でした。いつもは会議室を利用するだけの方も、普段からにぎわい交流館に関心を持ってくださっている方たちと意見交換していただき、いろんな活動をしている団体があることや、にぎわい交流館の役割について改めて考えていただけたと思います。</p>		
12	日進まちづくりゼミ （第 7 回～第 8 回）	令和元年 8月 21日（水）	参加者 15名
		12月 19日（木）	参加者 29名
<p>第 7 回「ゆたかに生きる権利をまもる『成年後見制度』ってなに？」</p> <p>「尾張東部成年後見センター」の住田さんより、成年後見センターや市民後見人の活動についてお話を伺いました。また参加者からの質問に答えていただく形で、制度や権利擁護について詳しく学びました。</p> <p>第 8 回「『生活支援コーディネーター』って何をしているの？」</p> <p>日進市役所地域福祉課の野村さん、生活支援コーディネーター 1 層・2 層の方に活動内容についてのお話を伺いました。後半はテーブルに分かれて対話し、地域包括ケアシステムや各地域の取り組みについて理解を深め、地域資源について情報交換を行いました。</p> <p>市民活動団体、行政職員、大学教員、社協職員など、様々な立場の人が共に学び合う場ができ、新たなつながりを生むことができました。3 回程度の開催を目標としていましたが、第 9 回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、企画しませんでした。</p>			
13	にぎわい夢まつり	令和元年 9月 15日（日）	出展団体 12 団体 来場者 約 2,200 名
	<p>前年度までの経験を生かし、効率よく運営できました。来場者数は 1 割ほどの増加でしたが、売上金額は 9 割ほどの増加（H30 約 170,000 円→R1 約 326,000 円）となりました。前年度に比べ、有償での体験や販売が増え、売り上げが多くなりました。にぎわいや出会いの創出だけでなく、出展団体の資金獲得につながったと考えます。</p>		

	事業名	日程	参加者数等
14	日曜・祝日の喫茶提供	通年	76 日間
	<p>日曜・祝日のほか、お盆などでワンデイシェフが活動していない期間に喫茶を提供することで、バス待ちの来館者などに利用していただいています。提供数は前年度より約 5 割増加しました。3 月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無料のお茶の提供とともにやむを得ず中止となりました。利用者のみなさんからのご要望が多く、喫茶の提供が安らぎや和みのひと時を生み出す一助となっていたことを再確認しています。</p>		
15	事務支援事業	通年	消耗品販売 約 7 件/月 データ印刷 約 3 件/月
	<p>市民活動団体の小さな困りごとを解決するためにできることをメニューとして可視化することにより、団体にとって相談しやすい環境を整え、また、無料の相談支援の範囲内では引き受けられなかった支援を、有料メニューとして設定することにより実現することを目的としています。</p> <p>①コピー用紙などの消耗品販売、およびデータ持込による印刷サービスを行いました。</p> <p>②申込受付代行、ネット印刷発注代行などの、これまで団体から相談を受けたことがある支援・代行について有料メニューとして設定しました。</p> <p>①については消耗品販売が 85 件程度、データ印刷が 30 件程度の利用がありました。団体のニーズによく応えられているものと考えます。②の利用はありませんでしたが、対応できる態勢を整えておくことは有効と思われるので、当面の間継続します。</p>		
16	Facebook ページ運用	通年	ページに対するいいね! 613 件 (年間で+48 件) 投稿 68 件
	<p>にぎわい交流館の事業に関する告知のほか、ウェブサイトやブログの更新情報などを投稿しました。また登録団体が運用しているアカウントからの投稿をシェアして広報を支援しました。</p> <p>運用にあまり時間をかけられないなか、ウェブサイト更新情報を投稿したり、登録団体の Facebook 投稿をシェアしたりして、更新するよう努めています。</p> <p>令和 2 年 3 月にウェブサイトの RSS フィードを整備し、IFTTT を使用して新着情報を SNS に自動投稿する仕組みを構築し、労力の削減につなげました。</p> <p>今後は Facebook だけでなく、多くの若者が利用している Twitter や Instagram も活用し、にぎわい交流館や登録団体の PR をさらに進めていきたいと考えています。</p>		
17	企業と市民活動団体の連携 促進に向けた研修会	令和 2 年 2 月 8 日 (土)	参加者 25 名 (企業 13 名、NPO 12 名)
	<p>日進市社会福祉協議会と共催で開催。日進市内の企業とにこさばに所属している団体が参加し、関市市民活動支援センターの北村隆幸氏より「地域に愛される会社になるには」</p>		

	事業名	日程	参加者数等
	<p>と題して講演とワークショップを行っていただきました。</p> <p>今まで企業とNPOの連携、企業への社会貢献促進のアプローチは行えていなかったの で、新しくつながりを作り、アプローチ方法について学べたことは良かったと思います。</p>		

#### その他特記事項

- ・あったかだんらん鍋フェア【環境課への協力】
- ・日進西中学校・日進北中学校・日進中学校・日進東中学校（1・2年）の職場体験受け入れ
- ・にしん観光まちづくり協会  
理事として理事会（令和2年2月7日開催、3月31日書面開催）に出席しました。
- ・日進市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会  
運営委員として委員会（令和元年6月4日、令和2年2月26日開催）に出席しました。
- ・子どもの支援を考える会（にこさぼ）  
メンバーとして月1回の定例会に出席し、事業に協力しました。
- ・にしん省エネ倶楽部実行委員会  
委員として会議（令和元年8月29日、令和2年2月12日開催）に出席しました。
- ・日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）担当者との定期的な情報交換  
月に1回定例会議を設け、事業、相談などの情報交換を行いました。また、ボランティアセンター登録説明会（令和元年2月20日・21日開催）に出席し、ボランティアグループ向けににぎわい交流館の機能等を説明しました。
- ・日進市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市民協働課地域支援係、大学のボランティアセンター等との不定期の情報交換  
日進市社会福祉協議会CSWとは、にこさぼ等で情報交換を行い、12月にまちづくりゼミの講師としても情報提供していただきました。3月に市民協働課地域支援係の担当者と、地縁団体の状況について情報交換を行いました。12月8日に愛知淑徳大学コミュニティコラボレーションセンター主催のコラボメッセに参加したほか、3月に訪問して情報交換を行いました。名古屋学芸大学サービスラーニングセンターとも随時情報交換を行い、事業に協力していただいています。

その他、登録団体や関係各所からのチラシの配架、団体書庫の管理（登録団体のチラシなどの資料をファイリングしてカウンター下に配架）、玄関口に設置した掲示板の管理、イベントカレンダーの発行（毎月）、メールマガジン配信（月2回配信。NPO法人サンコムネットに一部委託）、人権・男女共同参画情報スペースの管理などを事業計画の通り行いました。

## 2. 令和2年度にぎわい交流館運営計画について

### (1) ビジョンと長期成果

運営の指針として、平成29年度から掲げてきたビジョンと、その達成のためのロジックモデルを引き続き使用します。令和2年度は、市民への参加促進・啓発等の取り組みに重点を置き、新規事業を実施したいと考えます。新型コロナウイルス感染症対策のため、にしんわいわいフェスティバルが開催できなくなりましたが、それに代わる啓発事業を企画・運営することで、市民活動の推進とSDGsの啓発の歩みを止めることのないよう、力を注いでいきます。

また、日進市内の19区を訪問し地縁型団体との連携を模索するとともに、大学・学生団体の支援・連携なども意識した運営を行います。なおビジョン等は令和3年度に見直しを行う予定です。

#### ビジョン（まちの将来像）



	長期成果の数値目標 (R2年度)	直近の実績	所感
A	行政とNPOの協働事業件数*1 98件	75件 (H28) 89件 (H29) 87件 (H30)	新たな協働を創出する環境づくりに努めたい。実態に近い件数が把握されるようになった。
B	にぎわい交流館登録団体数 300団体*2	322団体 (R2年3月)	市内の市民活動団体が堅調に増え続け、R2年度の目標をすでに上回っている。R2年度の登録更新の手続きの際に、若干の減少が予想される。
C	ボランティア・NPO活動への参加経験のある市民の割合*3 20%	13.9% (H26) 14.4% (H28) 14.7% (H30)	市民への有効なアプローチを確立できていない。女性や高齢者がボランティアより賃金労働に流れている社会情勢もある。

※1 R2年度の目標は第5次日進市総合計画より

※2 団体登録更新時の減少などを見込んで、目標値を見直した。

※3 市民意識調査（2年ごと実施）の結果。R2年度の目標は第5次日進市総合計画より

## (2) 受託事業および自主事業

分類	事業名		受託／自主
施設管理・ 利用許可等		会議室、印刷機、団体専用事務室等の利用許可、団体登録 調理室・ワンデイシェフ、マーケット ギャラリー、ランチコンサート 施設管理（清掃、警備など） 人権・男女共同参画情報スペースの管理	受託事業
		休日の喫茶提供	自主事業
相談窓口	(1)	相談対応 専門家への相談コーディネート	受託事業
		事務支援事業（消耗品販売、データ印刷等）	自主事業
情報収集 および発信	(2)	市民活動、大学・学生団体に関するチラシ等の受付、配架 団体書庫、図書等収集・配架 にぎわい NEWS（2回）、広報にっしん記事（2回） ウェブサイト、メールマガジン イベントカレンダー（月1回） チラシ配送（市民自治活動奨励事業認定制度）	受託事業
		SNS 運用（Facebook ページ、Twitter、Instagram） キャラクター「わいわい」を利用した PR	自主事業
講座・ イベント等	(3)	わいわいフェスティバル実行委員会事務局	受託事業
	(4)	広報講座（団体向け講座）	
	(5)	ファシリテーション講座 友好自治体フェア（ランチフェア・産直フェア等） にっしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	自主事業
	(6)	にぎわい夢まつり 事業説明会	
会議等への参 加、関係機関 との連携		にっしん観光まちづくり協会理事会 日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会） 子どもの支援を考える会（社会福祉協議会） 日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）、日進市社会 福祉協議会 CSW、市民協働課地域支援係、大学のボランティ アセンター等との定期または不定期の情報交換	受託事業

※番号のある事業は、次項に説明があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響により休館する時期もあり、今後の事業展開がこのとおりに  
いかない可能性もあります。その際は、実情に即した事業への変更を検討します。

	事業名	実施回数等	受託／自主	対応する 長期成果
(1)	専門家への相談コーディネート	通年	受託事業	B
	<p>団体経営や会計・労務・ファンドレイジングなどの専門的な相談について、専門家へ相談しやすい環境を整える。定期相談（下期に1日）とオンデマンド相談。前年度から見直し。※令和元年度第2回運営協議会では、定期相談を上期1回下期1回と相談のしやすい環境づくりのため複数設定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、上期の定期相談は見送ることになった。</p>			
(2)	にぎわい NEWS 広報にっしん記事	にぎわい NEWS 2回 広報にっしん記事 2回	受託事業	C
	<p>市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。子育て世代や定年退職世代を主なターゲットとした記事を制作する。継続。 →新型コロナウイルス対策のため、にぎわい NEWS は地域への回覧ができなくなったため、発行の時期や部数については市と協議をすすめ、決定する。広報にっしん記事について8月号は取材ができないため、わいわいフェスティバルの啓発記事に差し替える等、状況に合わせた対応を図る。</p>			
(3)	わいわいフェスティバル 実行委員会事務局	通年（7月4日開催予定→中止）	受託事業	C
	<p>市民主体のイベント運営のための事務を行う。会議の補助、出展団体募集の受付、パンフレット作成、市との連絡調整など。市民活動団体同士や、大学生や地縁型の団体との交流・連携などを図る。また、市民へのSDGsや市民活動の啓発を行う。継続。 ↓ 新型コロナウイルス対策のため、4月に中止が決定、出展申し込み団体数は72団体だった。今後は、通常のイベント形式ではないわいわいフェスティバル啓発事業を実施する予定。どのような形で啓発していくかは、実行委員会と協議を進め、決定する。</p>			
(4)	広報講座（団体向け講座）	1回程度	受託事業	B
	<p>チラシ・パンフレット制作などの広報に関する講座・ワークショップ。H30年度事業をもとに見直し。</p>			
(5)	ファシリテーション講座 （市民向け講座）	1回程度	受託事業	C
	<p>家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ講座。新規。</p>			
(6)	事業説明会	1回（開催月未定）	自主事業	なし
	<p>にぎわい交流館の運営方針や事業計画について説明し、参加者と意見交換する。参加者同士の交流や、市民が運営に参画することにつなげる。継続。</p>			

<p>5月頃の開催を予定していたが、現時点（R2.5月中旬）で新型コロナウイルス感染症の影響がいつまでどの規模で続くか見通しが立たないので、集会形式での開催は難しいと考える。オンラインでの開催など、密閉・密接・密集を避けた形での実施を検討中。</p>
---